

# あたら

A d a t a r a

編者 市原 隆典 氏  
Photo 松尾 誠「鶴が池」から撮影

二本松青年海外協力隊訓練所 JICA二本松ニュースレター

2006年春号(第)

— 第1号 4月発行 —

## 西郷村長(佐藤正博 氏)ごあいさつ

【イベント報告】 **ふくしま地球市民フェスティバル2006 開催**

JICA二本松新所長(筒井 昇 所長)ごあいさつ

シリーズ連載 **せかいのくにかろ**「モンゴル—ゴビ砂漠」

施設見学の窓 …「安達中学校」

良書倶楽部—りょうしょくらぶ—

国際協力川柳 — みなさんで 世界と笑顔に 川柳で…

シリーズ  
**福島出身の候補生**

5月~7月 **イベント情報**

# ホテルルワンダ

## 「ホテルルワンダ」上映

アカデミー賞主要3部門にノミネートされ、アフリカ版「シンドラーのリスト」と言われる名作「ホテルルワンダ」が、このたびJICA二本松の後援により「福島フォーラム」にて上映されました。4/15(土)のシンポジウムでは、JICA筒井所長はじめ、ルワンダ大使や「ルワンダの教育を考える会」のマリールイズ女史(写真)が活発な意見交換を交わしました。

## 西郷村長ごあいさつ

# 西郷村における国際協力・交流事業について



西郷村村長  
佐藤 正博氏

東北の玄関口に位置する、人口19,500人の西郷村は、日光国立公園内に阿武隈川の源流がある豊かな大自然と、牧歌的な風景を背に農業が営まれている田園地帯、また東北自動車道のICや東北新幹線新白河駅、大型ショッピングセンター周辺の都市化した三つの顔を有しており、「さわやか高原公園都市にしごう」づくりを進めて参りました。

村については、那須甲子少年自然の家や家畜改良センター、また海外と連携する企業を通じての国際交流など異

文化体験の機運が高まり、ホームステイ等の機会も増えています。

村内には、お国の期待を背負って技術研修を行い畜産振興に努力されている方々、語学指導で来村されている方々、企業等で技術の指導をされている方々など、様々な形で滞在される外国の方々が大勢おられます。また、平成7年に中国天津市薊県と友好都市を結び、中学生の相互訪問等の交流を続けておりますが、さらにこれらを通じた国際理解を深めて参ります。

西郷村村長 佐藤 正博

PHOTO 春の安達太良山

## 青年招へい Youth Invitation...

Welcome! ようこそ、ニッポンへ



去る1月23日から30日までの1週間、マレーシアから情報技術（IT）分野の青年22名が会津若松市を訪れ、市役所のIT行政サービス見学や地元IT企業家との意見交換を行いました。

特に「犯罪発生情報システム」や「証明書自動発行機」など、会津若松市役所で行うIT行政サービスに対しては大変関心が高く、多くの質問が寄せられました。

▶ 会津若松市立湊小学校での給食の様子



※冬号韓国専門家連絡会情報訂正とかわり※

冬号「韓国専門家連絡会、代表幹事 松谷聖寿氏」のご連絡先【Eメールアドレス】に誤りがありました。誠に申し訳申し上げます。yt1944fmatnujpc@y1944fmatnu





# Report of events

## ふくしま 地球市民 フェスティバル 開催!



▲イラクの環境保全ポスター（ポスター下部には、「毎日われわれは千本もの木を切っている。いつになったら、自然は弁に勝つことができるだろう」とある）

去る3月12日(日)、福島県内のNGOや国際協力関係団体が集う「ふくしま地球市民フェスティバル2006」が、郡山市の「ビッグパレットふくしま」で開かれました。

当日は約60の団体が参加し、来場者への事業紹介や民族料理の提供を行うとともに、ステージでは民族舞踊などが披露され、総勢4000名ほどの市民が来場しました。

JICA関連4ブースでは、「環境」をテーマに展示を行い、「JICA帰国専門家福島県連絡会」では世界の水のパネル展示と賞品付クイズを、「JICA教師海外研修」では「マングローブの保全とエビ養殖の関連性」を紹介しました。「ふくしま青年海外協力隊の会」も協力隊員環境関連活動のパネルをメインに展示しました。

また「JICA二本松」からは、医療関連集団コースで来日中のイラク研修本国から取り寄せた環境保全（植林）のポスターやパンフレットを展示するとともに、研修員自身もフェスティバルに参加して、イラクの現状を紹介、大変好評を得ました。



▲「JICA帰国専門家福島県連絡会」ブース



▲「JICA教師海外研修」ブース

## 草の根技術協力

# Hello!! こちら福島県NGOです。

<第1回目>

## 「心理リハビリテーション」 の現場から

▼マレーシアキャンプのようす



「福島県障害児・者の動作学習研究会（FAMAT）」は、心理リハビリテーション（動作法）の考え方に基づいて、障害児・者の精神・運動発達に関する研究と支援活動を行っており、2005年からJICA二本松の「草の根技術協力事業」により、マレーシアへの専門家派遣や研修員の受入れを3年間の予定で行ってきています。

「心理リハビリテーション」とは、トレーナーが示す動作課題を通じて、動作の改善やコミュニケーション力の発達をサポートする指導法で、現在では障害のある方だけでなく、スポーツ選手や高齢者の方々も対象に、ストレスマネジメントやカウンセリングの現場でも活用されている技術です。

昨年度は4名の日本人スーパーバイザーが現地に赴き、トレーナーの指導を行うとともに、3月にはマレーシア研修員2名を九州の福岡に招き、約1週間の研修会を開催しました。

今年度もマレーシアや国内での研修会を複数予定しているところ、活動の様子を紹介していきます。



## JICA二本松新所長 筒井 昇よりごあいさつ

今年2月末に真夏の南部アフリカの国モザンビークより帰国し、すぐさま雪の舞うJICA二本松に着任しました。着任当初は、さすがにこの急激な温度差に戸惑いましたが、今では安達太良山麓の自然を満喫できるようになりました。

さて、平成6年に開設された二本松青年海外協力隊訓練所は、主にアジア、アフリカ、中近東へ派遣される隊員候補生の派遣前訓練を実施してきましたが、平成8年より福島県内におけるJICA国内事業全般を所掌するようになり、現在ではボランティア事業のほか、研修員受入、青年招へい、草の根技術協力、開発教育・国際協力支援等の事業を行っております。

地元二本松市をはじめ国、県、NGO等の関係機関のご支援、ご協力により、JICA二本松は着実に事業拡大を続けておりますが、まだまだ県内におけるJICAの知名度はそれほど高くはありません。青年海外協力隊の名前ぐらいは知っている方がいても、それがJICA事業として結びついていない場合が多いので、今後、出前講座や講演会などあらゆる機会を通じて、JICA事業の紹介や国際協力等について情報を発信していきたいと考えています。

昨年末の政府金融機関改革で、国際協力銀行（JBIC）が実施してきた有償資金協力（円借款）や従来外務省が形式的に行ってきた無償資金協力がJICAに移管される予定で、JICAは技術協力、無償資金協力、有償資金協力（円借款）という日本の政府開発援助（ODA）の三本柱を一手に実施する機関となります。このように日本のODAやJICAを取り巻く環境が大きく変化している中で、JICA二本松が県内に設置されている意義と役割を再認識し、県内におけるJICA事業の情報発信拠点として、また開発教育・国際協力等の拠点としても事業を推進していきたいと考えています。

一方、JICA二本松の事業の柱となっている青年海外協力隊の派遣前訓練については、開発途上国からの要請増加に答えるために、今年度より、従来年3回実施していた派遣前訓練を4回に増やすことになりました。これはアフリカ重視を掲げる緒方イニシアティブにより、アフリカ各国からの協力隊員の要請が増加したことが理由としてあげられます。

また近年、2007年問題に象徴されるように団塊の世代が定年を迎え、開発途上国でのボランティア活動

に新たな生きがいを見出そうとするシニア層が増えています。協力隊員と同じ理念を持つシニア海外ボランティア事業は、開発途上国からの評価が高く、同ボランティアの要請は増加傾向を示しています。これに伴い、従来別々行われていた協力隊員とシニア海外ボランティアの訓練を、来年度より合同で訓練することが検討され、今年度試行的にシニア海外ボランティアの訓練をJICA駒ヶ根で実施することになりました。JICA二本松においても、来年度からの合同訓練に備え、訓練内容の見直し等の準備を進めており、こうしたボランティア事業を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。

JICA二本松では、県民の皆様にできるだけわかりやすくJICA事業をお伝えするよう心がけております。今後とも、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

JICA二本松所長 筒井 昇



JICA二本松エントランス

## 研修員だより

### 「医療器材管理・保守」イラクコース

郡山市にある(株)メディサンにおいて、1月10日より3月26日までの間、イラクからの研修員10名を対象に医療器材メンテナンスの研修が行われました。

研修員の中にはサマーワ地区からの参加者も3名いたため、研修期間中に自衛隊山形/郡山駐屯地から保健衛生・広報関係の隊員を招待し、情報交換の機会を持ちました。

また、「ふくしま地球市民フェスティバル」でも、イラク国の環境政策を紹介し、郡山市民と交流を行いました。



「ふくしま地球市民フェスティバル」でのハッピー姿 ▲

シリーズ連載

# せかいのくにから [第2回]



## 私のふるさと—ゴビ砂漠

モンゴル語 語学講師 ナラン



モンゴル Data  
面積:158万4,100km<sup>2</sup>  
[日本の約4倍]  
人口:253万3,100人  
(2004年統計年報)  
首都:ウランバートル  
(2004年統計年報92万  
8,500人)  
通貨:トグログ(MNT)



私はゴビ砂漠出身である。  
私のふるさとについて、モンゴルのゴビ地域で恐竜化石産地の地質調査を行った日本の柴正弘氏が次のように書いている。「ゴビ砂漠は広大な草原と砂漠の地で、そこでの旅はまるでロールプレイングゲームを現実フィールドでやっているような楽しさがある。ゴビの草原や砂漠にはほとんど道がなく、ともすると自分のいる位置さえわからない。我々は、ところどころに住んでいる遊牧民に道を聞き、道や井戸を確かめる。彼らは我々を歓迎し、そこでいろいろ



モンゴル祝儀 (7月11日、12日開催) ナーダム

な情報と物を交換する。暖かい人とのふれ合いや雄大で美しい大自然との出会いがあり、その中にはかなりしばしば冒険がつきまといった。」

近年、モンゴルと日本との交流はさかんに行われている。最近ではウランバートル市の周辺には観光地が増えているので、日本を始め、世界中の国々から観光客が訪れている。冒険好きな方は、遊牧民のゲルに泊まり、言葉が通じなくても暖かい交流ができる。しかし、ゴビ砂漠はまだ観光地として開発されていないので高級ホテルや旅館などはない。

今年、2006年はモンゴル建国800周年記念の年である。1月からはいろいろなイベントが開催されている。その一つは、モンゴル建国800周年記念祭「チンギス・ハーン800年目の帰還〜ユーラシアの祝祭〜」である。7月10日〜8月31日まで、首都ウランバートルから車で約45分の広大な草原を舞台に開催される予定である。その舞台では、作家の堺屋太一氏の発案で、チンギス・ハーンの率いた13世紀の騎馬隊を忠実に再現すると、ついこの間、発表された。500頭を率いての騎馬術や兵法が繰り広げられる。いかがですか、皆様も13世紀の騎馬民族の騎馬術や兵法にふれて楽しみませんか。

ダムバダルジャー ナランツェツェグ  
Dambadarjaa Narantsetseg



### World Quiz ワールドクイズ

Q モンゴル人の名前には特徴があります。それは次のうちどれでしょうか?  
①苗字がない ②男女の区別がない ③母方の姓を名乗る

答えは、●ページに

次回予告 ベトナム語語学講師 チャイン先生

…どうぞお楽しみに!!

## 施設見学の『窓』

### 二本松市安達中学校第2学年総勢 111名、100団体目の来所!

～平成18年2月9日(木) 安達中学校(111名)～

「中学生の顔が見たいです!」とエジプトエドワン大学の日本語を学ぶ学生さんからの第一声。JICA-Net (ジャイカネット)を活用して異文化交流会が始まりました。

日本語での自己紹介に始まり、あんな質問も…。日本文化の紹介では「習字と♪ヨサコイ」が披露されました。よさこいを舞う姿に最後は一同拍手喝采! JOCVの体験談を通して「相互理解や交流」の大切さを一緒に考えたからこそ、みんなで拍手ができました!

さて、みなさんもJICA二本松へ来訪方、異文化を体験してみませんか。この他に、JICA国際協力出前講座でも講師派遣を行っています。



◀JICA-Net(ジャイカネット)で体験、異文化交流

習字とヨサコイを披露する安達中学校生徒の皆さん▶

※URL～ <http://www.jica.go.jp/branch/ntc/jlmusho/taiken.html> JICA二本松HPより施設見学申込用紙がダウンロードできます。

JICA用語ミニ知識 「JICA-Net (ジャイカネット)」…テレビ会議・マルチメディア教材・インターネットなどを活用した新しい形の国際技術協力です。

## 国際協力川柳

〔協力隊 たかが2年 されど2年〕

(協力隊OG)

〔アルコール 会話上達の 潤滑油〕

(協める隊員候補生)

〔飲みすぎで 覚えた単語が こぼれ落ち〕

(協める隊員候補生)

※あなたの川柳大募集!! 次回、掲載された方には粗品をプレゼントします! お名前、連絡先などを必ず明記しFAX、又は電子メールでご応募ください。

良書  
倶楽部

We recommend  
that you read this  
book...

番号お薦めの本!!



世界と地球の国った現実  
日本国際飢餓対策機構(編) 2004年発行(定価=本体1200円+税)

「まんが」を通して開発教育とは何かを知ることができます。

「総合的な学習の時間」の教材としても最適です。

\*訓練所内の「JICAプラザ」にて閲覧できます。

W.W.W.

ワールドワイドなわたし達...

「福島県立富岡高校」



「真の国際人」育成を目指し、このたび県立富岡高校では、全国でも珍しい単位制の「国際・スポーツ科」を新設し、JICA二本松が「異文化理解」の授業を担当することになりました。

4月21日(金)の第1回目授業では、訓練所スタッフがゲームをとおして開発教育を行い、地元テレビ局の取材も受けました。

今後も外国人研修員との交流やエッセイコンテストへの応募など、JICA事業も絡めた面白い授業を展開していく予定です。

## オーラ! コモエスタ?



▲現地の子どもたちと橋本千賀子さん

福島県国際協力推進員として着任しました橋本千賀子です。生まれも育ちも二本松。縁あって、生まれ故郷へ戻ってまいりました。

バラグアイで感じた大切なもの、幸せってなんだろう、を共に考えていきたいと思っています。

県内で活動するたくさんの方々に元気をもらいながらJICAと市民の架け橋になれるようフットワーク軽く県内を駆け回りしたいと思いますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

また在籍する県国際交流協会では、南米バラグアイの衣装、テレシ(お茶)を用意して皆様をお待ちしています。ぜひ一度お立ち寄り下さい。ノスベモス!!

### <プロフィール>

- JICA福島県国際協力推進員4代目
- 橋本千賀子(ハシモトチカコ)
- 福島県二本松市出身
- 青年海外協力隊 平成14年度1次隊 村落開発普及員 バラグアイ共和国派遣
- 平成16年11月~18年3月 JICA筑波国際センター開発教育支援業務担当(JOCA)

国際協力推進員から  
私達に任せて!!



佐藤睦美さん

ありがとう  
ございました

こんにちは。2004年4月から国際協力推進員として勤務してまいりましたが、この度4月末で退職する事になりました。

県や国際交流協会、NGO団体など、他の機関との連携、規模の大きな事業が多く、着任した時はこのような役割が自分に務まるのか不安でしたが、皆様のご指導のおかげで何とかここまで来ることが出来ました。

至らない点が多々あったかと思いますが、この仕事を通して、県内の様々な団体や、多くの方と出会う機会に恵まれた事が一番の宝です。私にとってはとても学ぶ事が多い2年間でした。ありがとうございました。またいつかどこかでお会いしましょう。

佐藤睦美

### ~国際協力やNGOのご相談は...~

JICAと福島県の連携促進など、各種ご相談を「国際協力推進員」が承ります。ご連絡は下記までお願いします。

財福島県国際交流協会

TEL: 024-524-1315

FAX: 024-521-8308

URL: <http://www.worldvillage.org/>

# 福島出身 の 候補生

平成18年度1次隊前期候補生

世界中の人々に、  
ほんとうの愛を送りたい。



景山とも子さん 出身地:郡山市 派遣国:ケニア 職種:村落開発普及員

4月6日から始まった訓練生活にも慣れ始め、現在、語学や体力作りに励んでいます。私は村落開発普及員として、ケニアの農村を巡回し生活用水確保のための浄化槽設置やそれに伴う住民の連携体制構築を目的としています。ここ福島県は猪苗代湖が水質日本一に輝くなど、水と緑が大変美しい環境であったことで大学でも水環境について学ぶことができ、今後はそれらを水問題で困っているアフリカの人々のために貢献できればと思いました。まずはこの訓練所にて現地に対応できるだけの語学と異文化適応能力の向上に努めます。2年後、同期隊員と二本松の温泉で集まりたい、そんなみんなの思い出の場所になれば私も嬉しく思います。将来、訓練所を通し二本松から国際協力がさらに身近なものとなれば幸いです。



山内美佳さん 出身地:会津美里町 派遣国:ブルガリア 職種:幼稚園教諭

会津若松市にある、会津若葉幼稚園に4年間勤務していました山内美佳です。子ども達と一緒に遊んで共に楽しんだり、怒ったり、泣いたり、考えたり…と様々な感情(心)の経験を積み重ねました。その中で子ども達が持っている力や可能性の大きさに日々驚かされていました。

幼稚教育は初めての集団生活で人間性の基礎が培われる大切な部分を担っていると思います。この大切な時期に『開発途上国ではどのような教育が行われているのだろうか?見てみたい!』という思いが大きく膨らみ、JICAの青年海外協力隊を受験しました。

海外の子ども達との出会いを期待しつつ晴れて隊員となって任国に向かうことができるように頑張る訓練に臨みたいと思います。



## 福島県出身JICAボランティア 2006.4.12 現在

合計37名【JOCV(短含)、SV(短含)、日系青年、日系シニア、調整員】



福島県出身JICAボランティア 2006.4.12 現在

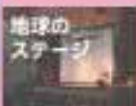
合計37名【JOCV(短含)、SV(短含)、日系青年、日系シニア、調整員】

協力隊候補生カップルのお忍びスポットとして有名な「空の庭」。自然レストランのほかに、輸入雑貨店やプチホテルも人気があります。訓練所にお越しの際、ぜひ立ち寄ってみてください。

住所:二本松市岳温泉 2-56 (訓練所から車で5分)  
※ 真の地図をご参照下さい。

## 5月～7月のイベント情報

- 5月10日(水) 国際協力フォトコンテスト2005展示  
～26日(金) 東邦銀行会津支店
- 5月26日(金) 集団研修「家畜受精卵移植技術」コース開講式
- 5月28日(日) 創立3周年記念チャリティーコンサート  
Music Woman in 開成山 Vo.LVI  
入場無料 (於:郡山市開成山野外音楽堂)
- 5月30日(火) 集団研修「牛人工授精普及システム」コース開講式
- 6月2日(金) 15:10～17:00公開講座 地球のステージ  
(於:JICA二本松)



出演者:桑山紀彦 (NPO法人 地球のステージ・医師) \*先着50名  
連絡先:JICA二本松 TEL:0243-24-3200  
映像と音楽のシンクロステージでインド・東ティモール・アフガニスタンなどの貧困紛争地域の子どもたちの明るくたくましい姿を紹介する。

- 6月10日(土) 東北ミニ地球市民フェスティバル  
～11日(日)
- 6月13日(火) 青年招へい「アセアン混成」チーム到着
- 6月14日(水) 平成18年度第1次隊前期 修了式
- 6月19日(月) 集団研修「医療器材管理・保守(基礎)」(英語圏アフリカ) 開講式
- 7月6日(木) 平成18年度第1次隊後期 入所式
- 7月30日(日) 地球体験キャラバンスペシャル(ふくしま青年海外協力隊の会)

### 青少年社会参画推進国際セミナー参加者募集

世界に興味がある、日本に興味がある、自分について考えたい日本人青少年・外国人青少年の参加をお待ちしています。  
開催日:平成18年8月4日(金)～8月8日(火)  
場所:福島県青少年会館他  
内容:8月4日午後～(2泊3日)  
日本人参加者の自宅に外国人参加者がホームステイします。  
8月6日午後～(2泊3日、福島県青少年会館にて)基調講演:  
池田香代子「世界がもし100人の村だったら」 著者  
ワークショップ:「国際平和、人間の安全保障」に関する3つのテーマについて、今、私たちができることを考えます。  
交流会:参加各国の紹介など交流を行います。  
問合せ先:福島県生活環境部青少年グループ  
TEL:024-521-7187  
E-mail:youth@pref.fukushima.jp

### 授業で、途上国視察の経験を活かしてみませんか? 平成18年度教師海外研修(ラオス)参加者募集

平成17年度教師海外研修  
(インドネシア)参加者による撮影 ▶



【派遣国】  
ラオス  
【募集人数】  
4名(ただし、茨城県の教師4名を別途募集します。)  
【応募締切】  
平成18年5月22日(月) JICA二本松必着  
【お問合せ先】  
JICA二本松  
(独立行政法人国際協力機構二本松青年海外協力隊訓練所)  
教師海外研修担当 三好

## 地球体験キャラバンスペシャル2006



★ 来る7月30日(日)に、毎年恒例の「地球体験キャラバンスペシャル2006」をJICA二本松で開催します。在日外国人の方々と、ゲームやエスニック料理の試食を通して交流したり、隊員訓練所の中を見学してみませんか?  
小・中学生、先着150名様のための受付です。(小3までは、保護者同伴)  
お問い合わせは国際協力推進員の機本まで。  
(福島県国際交流協会 tel:024-524-1315, 日・月休み)

### 編集後記

ここ岳温泉街にはスキー客向けオシャレなレストランがたくさんありますが、手作りパンと喫茶の店「しゃっぽ」もそのひとつ。  
入り口には「古本交換コーナー」があり、温泉客が置いていったであろう数百冊の古本が自由に交換できるようになっています。  
「山と渓谷」や「national geographic」のような雑誌もたくさん揃っていますので、ぜひ覗いてみてはいかがでしょうか。  
—(ジャイ男)



### JICA二本松へのアクセス

独立行政法人国際協力機構  
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558  
福島県二本松市永田字長坂4-2  
TEL:0243-24-3200  
FAX:0243-24-3214  
E-mail:jicanjv@jica.go.jp

※皆様からのご意見等をお待ちしております。

